



観音寺・三豊産の果物を使った日本酒ベースのリキュール「ほのシリーズ」(苺・桃・葡萄・蜜柑)を、昨年1年をかけて世へ送り出した。企画から開発まで全ての責任を背負ったのは、十二年の蔵人人生でもこれが初めて。大仕事をやり遂げた達成感と安堵感が、表情から窺える。

日本酒の間口を広げたいと考えていた川人社長のOKはすぐ出たものの、それが迷路の入口となる。品種選定から搾り方、果汁の甘みや香りと日本酒との組み合わせは無限のパズルのようで途方に暮れた。しかも旬を逃しては、果物本来の味を伝えることはできない。生産者に時に厳しく叱られながらも教えを請い、寝食を忘れて、今提供できる最高の酒をつくることに没頭した。そして誕生したのが「ほのシリーズ」である。これまでにないお酒だけに、当然賛否両論がある。しかし若い女性がウオッカ割で楽しんでいると言っ

くれたのは、本当に嬉しかった。「これまでは美味しい日本酒をつくれれば、皆さんが振り返ってくれると考えていました。でも、それだけでは駄目。日本酒に親しんでもらうきっかけを作り、日本酒のある生活を提案していかなければ」

彼女自身、日本酒を敬遠してきた一人である。親族の集まりで飲んだ記憶が、ひどいものだったらしい。そんな彼女の人生を変えてしまった、運命の一杯がある。東京農大在学中、先輩の実家である造り酒屋で日本酒に感動。この美味しさを伝えた

いとこの思いが膨らみ、杜氏を志す。

当時、女性の蔵人は全国にほとんどおらず、地元三重の造り酒屋全てで断られる。彼女の熱意が通じ、奈良の造り酒屋に就職ができた。そこでは杜氏の補佐役である頭となるも、結婚・出産もあり離れることに。

川鶴は学生時代に研修で訪れた蔵元で、伝統技術の確かさに惹かれた。六代目当主の裕一郎氏の酒造りにかける情熱にも共感し、平成■年に家族と共に移り住む。「県外出身の私だからこそ、見つけられる香川の良さがあるはず。川鶴のお酒にそのエッセンスを加えることができれば」

運命の一杯を今度はその手から。



今輝く女性

「日本酒の美味しさ、香川の素晴らしさを
伝えられるお酒をつくりたい」

川鶴酒造(株) 杜氏見習い

藤岡美樹さん

(観音寺市本大町836)

香川初 保険選びの新提案

貴社に有利な生命保険を

一発検索

企業保険の**11ネット**

高松市郷東町 3-1 中原ビル 3F

TEL.087-881-7563

リスク塾連載中! www.11-net.jp

讃岐うどん いずみ かな泉

本社 / ☎087-868-0123(代)

紺屋町店・空港店

丸亀店・倉敷店

◆不動産の総合コンサルタント◆
貸店舗ビル総合企画管理

**不動産の総合デパート
賃貸情報センター**

香川県知事(10)第1879号

UR 植本不動産

高松市内町3番11号(フェリー通り)

☎(087) 822-5555(代)
FAX 822-5566